

集合住宅の省エネルギー設計を速やかに理解し実践できる

「自立循環型住宅設計講習会 集合住宅版」

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構は、国土交通省国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人建築研究所及び民間企業との共同研究の一環として制作した、集合住宅の省エネルギー設計に関するガイドライン『**集合住宅版 自立循環型住宅への設計ガイドライン**（A4判 約370ページ）』をこの度刊行いたしました。

つきましては、このテキストを使用した**はじめての講習会**を、Zoom ウェビナーを使用した**オンライン講習会**（ガイドラインは事前送付）で開催することになりましたのでご案内いたします。

『自立循環型住宅』は、特殊な技術や未完成の技術を用いることなく一般的に入手できる手法・技術の組み合わせで、居住性や利便性の水準を向上させつつも、住宅の居住時のエネルギー消費を50%削減することを目指した住宅であり、その成果は住宅事業建築主の判断基準や低炭素建築物の認定基準、省エネルギー基準に関する技術情報やプログラムにも活用されています。

これまでの、「自立循環型住宅への設計ガイドラインシリーズ（入門編、蒸暑地版、準寒冷地版、温暖地版及び改修版）」では、いずれも戸建住宅を主な対象としており、小規模の木造集合住宅に対してもある程度対応できました。一方、RC造の集合住宅に対しては各住戸の設備の評価についてはある程度対応できるものの、外皮や隣戸の影響、共有部など対応できない面もありました。このため、今回新たに **RC造の集合住宅における外皮や隣戸の影響、共有部などに関する研究成果**に基づいた記述を加えるとともに、上記ガイドラインにおける各住戸の設備の評価方法を最新情報に更新いたしました。

この『集合住宅版 自立循環型住宅への設計ガイドライン』は講習会受講者のみの配付となっており、一般には販売致しておりません。ご自身の省エネ設計知識への不安や悩み解消・スキルアップに是非ご受講ください。



開催概要

- 名称：自立循環型住宅設計講習会 **集合住宅版**
- 主催：一般財団法人建築環境・省エネルギー機構
- 方式：**Zoom ウェビナーを使用したオンライン講習**
- 日時：**2021年12月10日(金) 10:00~17:00**
- 定員：**100名**
- 資料：『集合住宅版 自立循環型住宅への設計ガイドライン』※資料は事前に送付いたします。
- 受講料：**15,000円/1名（ガイドライン・消費税込）** 税別 13,637円

※日本以外の国からご参加の場合は、資料の送料が変更になりますので、受講料について事前に事務局までお問合せ下さい。

●プログラム・講師（予定）：

※プログラムは講師の都合により順番が前後します。解説の一部には事前に収録した映像を含みます。

※講師は依頼済ですが、万一やむを得ない事情により講師が他の設計ガイドラインの執筆関係者に変更になる場合がございます。

プログラム		講師
1 章	自立循環型住宅と省エネルギー	国立研究開発法人建築研究所 環境研究グループ長 桑沢保夫氏
2 章	自立循環型住宅の設計プロセスと要素技術の概要	株式会社アルセッド建築研究所 山口克己氏
3 章	自然エネルギー活用技術	
	1) 自然風の利用・制御	国土交通省国土技術政策総合研究所 住宅研究部 建築環境研究室長 西澤繁毅氏
	2) 昼光利用	国土交通省国土技術政策総合研究所 住宅研究部 建築環境研究室 主任研究官 山口秀樹氏
4 章	建物外皮の熱遮断技術	
	1) 断熱外皮計画	足利大学 工学部 創生工学科 建築・土木分野 教授 齋藤宏昭氏
	2) 日射遮蔽手法	
5 章	省エネルギー設備技術	
	1) 暖冷房設備計画	(前出)桑沢保夫氏
	2) 換気設備計画	高知工科大学 システム工学群 社会システム工学教室 准教授 田島昌樹氏
	3) 給湯設備計画	東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 准教授 前真之氏
	4) 照明設備計画	(前出)山口秀樹氏
	5) 高効率家電機器の導入	富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科 教授 堀祐治氏
	6) 水の有効利用と生ゴミの効率よい処理	関東学院大学 建築・環境学部 環境・設備分野 教授 大塚雅之氏
	7) 共用部の省エネルギー設備技術	国立研究開発法人建築研究所 環境研究グループ 主任研究員 赤嶺嘉彦氏 5.7.5 照明設備計画(共用部)のみ (前出)山口秀樹氏 5.7.6 給排水設備計画(共用部)のみ (前出)大塚雅之氏
6 章	省エネルギー効果の評価と設計における活用	(前出)桑沢保夫氏

申込方法

1. 下記銀行口座に受講料（15,000 円／1 名（ガイドライン・消費税）税別 13,637 円）をお振込ください。

※振込手数料は貴社にてご負担下さい。※複数名での参加の場合は、まとめてお振込みいただいても構いません。

銀行振込

銀行名	三井住友銀行 東京公務部(店番号 096)
預金種目	普通預金 口座番号 2 2 5 9 3
受取人	イパング・イタリヤン・カンパニー・リミテッド 一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構

郵便振替

加入者名	一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構
口座番号	0 0 1 9 0 - 8 - 1 3 1 2 4 3

※郵便振替用紙の通信欄に、「自立循環型住宅設計講習会」と明記してください。また、払込人住所氏名を必ずご記入ください。

2. 受付フォーム (https://zoom.us/webinar/register/WN_h0tWULT8QxmAL_3WEfRMgA) にて必要入力項目のご記入の上、お申込み下さい。

※複数名での参加の場合は、お手数ですが申込は**お一人様ずつの入力**をお願い申し上げます。
(受講料をまとめてお振込いただいた場合は、受付フォームの通信欄にその旨ご記入下さい。)

またメールアドレスは Zoom システム上、**別々の異なるメールアドレス**にてお申し込み下さい。

3. 事務局の手続きが完了しましたら、Zoom ウェビナー登録システムを使用して、ご登録いただいたメールアドレス宛に Zoom 受講用 URL とパスコードをご案内させていただきます。

当財団(IBECE)銀行口座への入金と受付フォームへの入力をもって正式なお申込となります。

ご登録いただいたメールアドレスに Zoom URL とパスコードが Zoom より送信されますので、必ずご確認ください。

※「受講票(Zoom URL 等)」の送信は**当財団(IBECE)銀行口座に入金されてから 5 日程度**かかりますのでご了承ください。振込日指定で送金される場合、当財団(IBECE)で入金を確認できるまで Zoom URL はご案内できませんのでご注意ください。(お申込の予約は受け付けておりません)

※5 日たってもメールが届かない場合は、受信側のセキュリティにより「迷惑メール」フォルダに分類、または受信拒否やご登録のメールアドレスに誤りがある可能性等が考えられます。メールが見つからなかった場合には、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

※URL は他の人と共有できません(参加者毎に URL が異なります)。また複数の機器(PC とタブレット等)を同時に使用して参加することはできません。

4. 資料『集合住宅版 自立循環型住宅への設計ガイドライン』は、**11 月下旬以降の発送を予定**しています。

注 意 事 項

- イ. 講師は、急な都合により変更となることがあります。予めご了承ください。
- ロ. お申し込みは先着順で定員になり次第締め切ります。予約は受け付けておりません。
- ハ. 納入された受講料は原則として返金致しません。但し定員の都合上お断りする場合は返金いたします。
- ニ. 領収書は、金融機関が発行する振込金受領証等をもって領収書に代えさせていただきます。
- ホ. **当日欠席された場合、1 週間程度の配信視聴(この場合、要 Zoom アカウント取得(無料))をもって代えさせて戴きます。キャンセルはお受けできませんので十分ご注意ください。**

受講により得られる証明等

1. 本講習会は、建築 CPD (継続能力/職能開発) 情報提供制度の認定プログラム(申請予定)です。本制度は建築関連団体により構成される建築 CPD 運営会議が実施するもので、内容については、(一財)建築技術教育普及センターホームページをご覧ください。なお、本講習会は受講資格を設けておりませんので、関心のある方はどなたでもご参加いただけます。
2. 当日講習会を最初から最後まで受講された方には、受講修了証を発行いたします。受講修了証の発行には全プログラムの受講が必要となります。

問 合 せ 先

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 建築省エネルギー部 今井・稲垣・鈴木・青木

住所：〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-5-1 全共連ビル麹町館 2 F

電話：03-3222-6946 電子メール：jiritsu1@ibec.or.jp

◇本申込みにより当財団が取得する個人情報の利用目的は以下の通りです。

- ・本講習に係る案内及び連絡、受講票の送付
- ・その他財団が開催する講習会・セミナーの案内

なお、個人情報保護法に定める事項については、当財団のホームページ(<http://www.ibec.or.jp/>)をご覧ください。当財団までお問い合わせ下さい。(電話：03-3222-6681)